

あぐい

第149号

平成28年5月1日発行

議会だより



阿久比町議会本会議場



2P 主な議決内容



3P 町財政の歳入歳出



5P 常任委員会レポート



6P 一般質問



15P 追跡レポート



16P グループ紹介 宮津山田達者会「友愛活動」

編集後記

6月議会予定

平成23年第1回定例会

役場全景

可決

平成23年度一般会計予算

反対討論

杉野 明議員

第一に「高齢者生きがい活動支援事業」の一方的な廃止。第二に防犯灯設置数の削減。第三に地域経済活性化の取り組みがないこと。第四に新庁舎建設事業費。今必要なのは災害に対応する最低必要な耐震改修ではないか。景気低迷の折、住民の切実な思いに耳を傾けようとせず、新庁舎建設事業を押し進めようとする姿勢が反映した予算には反対。

反対討論

石川 英治議員

本町では来年度より新保育園の建設により、多額の費用が必要となる。そうした中で新庁舎建設に関する予算2,999万円は賛同できない。また循環バスに関する予算の1,803万1,000円について、試行期間3年間無料というのはあまりにも長期であり無謀とは思えない。無料の試行期間を短くすべきと考える。

賛成討論

勝山 制議員

厳しい財政状況であるが、一般会計予算は前年度より7・7%増となっている。主なものは、新庁舎建設基本構想策定や基本設計業務、住民票等時間外交付事業、新保育園建設事業、子宮頸がん、ヒブ・小児及び高齢者などへの肺炎球菌の予防ワクチンの接種助成、阿久比・矢高地区の土地改良事業、消防自動車更新事業、中学校空調設備事業などで、健全な財政運営を期待する。

可決

国民健康保険税条例の一部改正

反対討論

杉野 明議員

国保運営協議会の答申で指摘されているとおり「国保は無職者、失業者と非正規雇用者を含む低所得者の加入者が多く、財政基盤が非常に脆弱」。景気の回復が見られず所得が低下している今、一般会計からの繰り入れだけで17・5%の引き上げには反対。多額の財政調整基金や庁舎建設基金などの繰り入れで、今回の引き上げは抑えることができる。

賛成討論

久保 秋男議員

21年度以降、国民健康保険特別会計の歳入不足分を国民健康保険財政調整基金から1億5千万円を繰り入れて賄ってきたが、22年度末には基金残高も枯渇し、23年度には2億円余りの歳入不足となる。不足分を全て国民健康保険税で賄うとすると平均で38・2%の大幅な上昇となることから、一般会計より法定外繰入金として1億1千万円を補てんし、税率の上昇を抑えることは、やむを得ないものと判断する。

賛成討論

竹内 貞和議員

国民健康保険は、国民皆保険制度の基盤をなすものとして、重要な役割を担っているところであるが、無職者、失業者、非正規雇用者などを含め低所得の加入者が多く、年齢構成も高いなど構造的な問題を抱えており、その財政基盤は非常に脆弱なものとなっている。よって、国民健康保険制度の健全な運営を確保するため、一般会計からの繰り入れを実施し、国保加入者の負担を軽減したうえで、一定の保険税率の引き上げは、やむを得ないと判断。

否決

修正動議

杉野 明議員
澤田 道孝議員

特別職の職員の給与及び旅費並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例に対する修正案

平成23年4月1日から平成26年12月17日までの期間において支給する町長の給与については、「812,000円」とあるのは「691,000円」とする。

反対討論

久保 秋男議員

町長選挙における選挙公約を果たすということで、阿久比町特別職報酬等審議会に諮問し、答申を頂いたものであり、改正内容はこの答申を尊重したものとされている。修正動議案は、何の根拠もなく691,000円の額を提示しており、到底容認できない。

可決

特別職の職員の給与及び旅費並びにその支給方法に関する条例の一部を改正

反対討論

石川 英治議員

内容は現行812,000円を4・9%下げて772,000円とするものだが、先の町長選で町長給与を下げる公約にかかげていた。他の候補は30%カットと明言していた。その事をふまえ、私は30%はカットするものと思っていたが、わずか4・9%と非常に少ない減額であり、とても容認できるものではない。

賛成討論

大村 文俊議員

町長は選挙公約を果たすため、特別職報酬等審議会に自らの給料について減額で諮問し、その答申を尊重した。審議会委員も民間の方であり、住民感情は十分理解して判断した内容となっている。

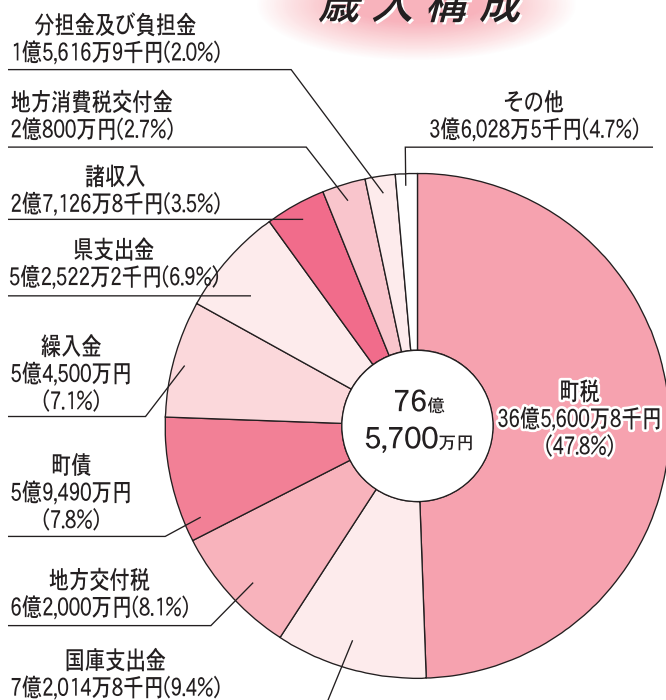


町財政の歳入歳出

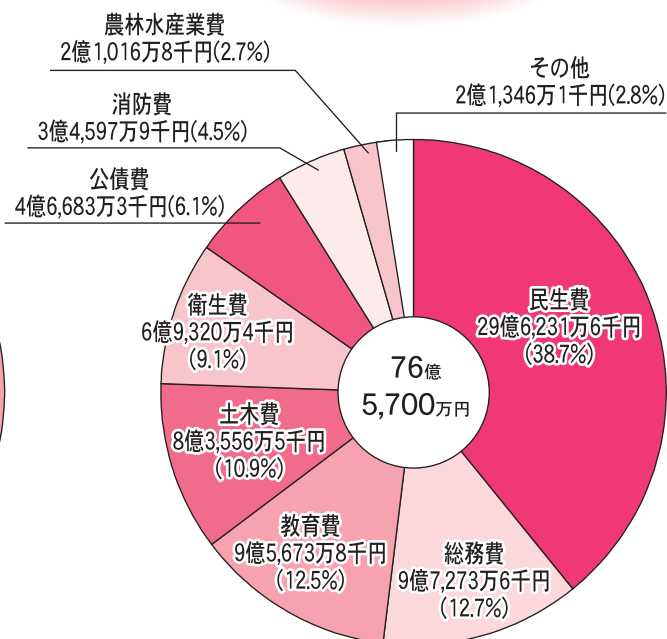
平成23年度一般会計予算

一人当り予算 約295,000円 (23年3月1日現在 25,997人)
 一人当り借入金 約160,000円 (22年度末地方債 現在高見込額より算出)

歳入構成



歳出構成



会計別予算総括表

区分		予算額	増減率
一	一般会計	76億5,700万円	7.7%
特別会計	国民健康保険	23億5,241万5千円	6.6%
	老人保健	—	皆減
	土地取得	29万6千円	△24.1%
	下水道事業	6億8,400万円	△40.1%
	介護保険	14億9,215万円	5.8%
	後期高齢者医療	2億3,286万7千円	0.8%
小計		47億6,172万8千円	△4.6%
水道事業会計(支出ベース)		7億7,204万3千円	△17.1%
合計		131億9,077万1千円	1.2%

老人保健特別会計は、平成22年度をもって廃止。

☆土・日・祝日や平日時間外に住民票等の交付窓口を開設(中央公民館本館にて)。

住民票等の交付窓口を開設

☆10月から、3年間は無料。運行ルートは2コース。

循環バスの試行運行

23年度主な事業

議案等

◎全員賛成可決

○賛成多数可決

×否 決

議案

- ◎阿久比町交通安全条例の一部改正
×阿久比町特別職の職員の給与及び旅費並びにその支給方法に関する条例の一部改正の修正動議
- 阿久比町特別職の職員の給与及び旅費並びにその支給方法に関する条例の一部改正
- ◎阿久比町職員の給与に関する条例の一部改正
- 阿久比町国民健康保険条例の一部改正
- ◎阿久比町立保育所設置及び管理条例の一部改正
- ◎阿久比町国民健康保険条例の一部改正
- ◎阿久比町上水道事業給水条例の一部改正
- ◎土地区画整理事業に伴う字の区域の設定
- ◎愛知県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更
- ◎愛知県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更

- ◎阿久比町道路路線の認定及び廃止
- ◎平成22年度阿久比町一般会計補正予算

- ◎平成22年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算

- ◎平成22年度阿久比町老人保健特別会計補正予算

- ◎平成22年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算

- ◎平成22年度阿久比町水道事業会計補正予算

- 平成23年度阿久比町一般会計予算
- 平成23年度阿久比町国民健康保険特別会計予算

- ◎平成23年度阿久比町土地取得特別会計予算

- ◎平成23年度阿久比町下水道事業特別会計予算

- ◎平成23年度阿久比町介護保険特別会計予算

- ◎平成23年度阿久比町後期高齢者医療特別会計予算

- ◎平成23年度阿久比町水道事業会計予算

- ◎阿久比町議会委員会条例の一部改正

同意案

- ◎固定資産評価員の選任

報告

- 専決処分報告

第1回臨時会（7月24日）

議案

- ×阿久比町に副町長を置かない特例条例の制定の修正動議（提出者 杉野明議員・鈴村一夫議員）

- 阿久比町に副町長を置かない特例条例の制定

- 阿久比町議会議員の定数を定める条例の一部改正の継続審査を求める動議（提出者 杉野明議員・鈴村一夫議員）

反対討論

久保 秋男 議員

議員定数16名を14名に改める議案に対し、継続審査を求める動議が提出された。内容は、「平成23年4月24日以後の改選議員によって結論をえるものとする」である。

条例定数は16名だが、現状は14名である。議員が少なければチェックが甘くなると考えるのではなく、議員一人ひとりの意見が重みを増すと考え、議員としての役割を今以上に発揮できるように努力をしていくことも大切であると考えている。

反対討論

稲葉 景久 議員

4月24日以降の改選議員による結論では、非常に他力本願であり、選挙までの期間議員全員で協議すべきである。

阿久比町議会議員の定数を定める条例の一部改正（廃案）

- 衣浦西部都市計画小廻間地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正

- 衣浦西部都市計画阿久比下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正
- ◎平成22年度阿久比町一般会計補正予算

同意案

- 副町長の選任

総務文教

循環バス事業



導入予定と同型のバス
(美浜町巡回バス)

当委員会に付託された7議案を審議した。
議案の主なものは、町特別職の給与及び旅費など条例の一部改正や平成23年度予算である。特別職など条例改正では30%減額との意見があった。
平成23年度一般会計予算では循環バス事業、新庁舎建設事業等について反対意見があり、可否同数のため二議案は、委員長裁決により可と決しました。
他の議案は、全員賛成で原案のとおり可と決しました。
(勝山 制議員)

建設厚生

平成23年度の新年度予算を審議



新保育園建設への
取り組み

当委員会に付託された議案18件を審議した。
議案の主な内容は、国民健康保険税条例の一部改正と平成22年度補正予算と平成23年度一般会計・国民健康保険／下水道事業／介護保険／後期高齢者医療特別会計・水道事業会計のそれぞれの予算である。
国民健康保険税条例については、急激な料金引き上げを軽減するために一般会計から一部繰り入れたことは当然であり、残りも繰り入れるべきとの意見が出された。
議案18件は、全員賛成あるいは賛成多数ですべての議案が可と決しました。
(大村文俊議員)

Q&A

一般質問

ここが聞きたい

町政を問う

基本的な考え方は

安全・安心・安定



久保 秋男 議員

Q

厳しい財政運営のなかであっても、町を活性化させるには健全財政の運営と喫緊の課題に果敢に取り組み、さらには事業の選択と集中を進め、限られた財源を有効かつ効率的に活用して住民サービスに取り組むことが重要です。

A 厳しい財政環境を踏まえて、職員一人ひとりが経営感覚を持ち、全職員の英知と創意を結集し、「安全・安心・安定」、「阿久比らしさ」、「参画と協働」を基本理念として、今年度策定した第5次総合計画の初年度として、「みどりと共に生ずる快適生活空間・あぐい」を目指すまちづくりを推進していくため、6つの推進施策を掲げ、これを実現するため前年度を踏襲することなく新年度予算編成に努めた。

予算編成は

町民負担の軽減を

Q

百年に一度といわれる経済不況の長期化により経済構造の行き詰まり、さらには少子高齢化の進展が予想されることからその実情にあった施策を重点に置いた予算配分が成されているか伺う。

① 重点を置いた予算で主なものは
② 重点施策で主なものは

A

① 町民負担の軽減を図る施策として、循環バス試行後もタクシー料金助成事業の継続、国保税については一般会計から財源補てんを図り、税負担の軽減に努めるとともに、水道料金の値下げを実施します。また、子宮頸がんやヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの全額助成など。

② 新保育所建設事業、循環バス対策事業、上水道第3供給点配水池建設事業、阿久比・矢高計画調査、役場庁舎基本構想策定事業など。

公約は

実現に向けて

Q

町長は公約を掲げ当選をされました。町民との約束である公約を23年度予算にどのように反映され、町の発展と住民サービスを進めて行くのか伺う。

A

学習環境を改善するため、中学校の教室内に空調設備を整備する設計業務に取り掛かる。町民の利便性向上のため、土・日・祝日や平日の時間外に中央公民館にて住民票等の交付窓口を開設する。町民が決める予算枠の創設は、検討委員会を設置し、調査・検討していく。町長の給料は、特別職報酬等審議会の答申どおり引き下げ、月額で現行より4万円減の77万2千円とした。



二井登喜男 議員

法教育の内容は 規範意識を育てる

Q 社会生活に必要な規範を、次代を担う子ども達に学校教育を通じて身に付けてもらうことを目的として、「法教育」が全面实施される。この「法教育」の内容、教材はどのようなものか。

A 法教育は、法律そのものをどのように学習するのではなく、規範意識の育成、ルール・マナーの遵守に関わつての指導として充実していくものである。3・4年生の社会科の教科書には、交通安全のためのルールのページが追加されており、法や決まりについて考え、道徳心や規範意識を高めるための指導を行う。

A 聴講生制度の目的は、生涯学習の充実、開かれた学校、学校教育の質の向上などが挙げられる。阿久比町では、住民対象の様々な講座を工夫し、社会教育、生涯教育を進めている中で、幼児小中一貫教育に取り組んでいる。地域の方にボランティアとして学校に入つて、授業の補助、校内作業などで学校を支援していただく、学校支援地域本部事業を立ち上げ始めており、学校教育の質の向上、開かれた学校のさらなる推進を図る。

町民も生徒に

開かれた学校の推進

Q 小中学校を対象にした「聴講生制度」は、その授業において大人の参加が可能となる制度であり、開かれた学校を目指す上でも利点が多く、時代の求めとマッチする。この制度への対応は。

相談窓口は

冊子の作成

Q 子育て中の親から「こんな時はどうしたらよいか」や、「相談窓口はどこか」などといった問い合わせがある。そのような時に、妊娠時から子どもが中学校を卒業するまでのことが、この1冊を見ればわかる『子育てガイドブック』を作成中と聞いた。その内容を伺う。

A 子育て関係職員が作成作業を始め、本年秋頃の完成を予定している。内容は子育て支援ガイドブックとして、町の子育てに関する特色や状況を掲載し、子育て中の家庭が「こんな時どこへ行ったらいいのか」と困った時などに町内各施設や医療機関、相談窓口等の情報をまとめた利用者側から分かり易い冊子の作成を考えている。



子育てサポートを

上水道第三供給点立木補償は 再調査して減額・返還で合意



澤田 道孝 議員



造成中の第三供給点

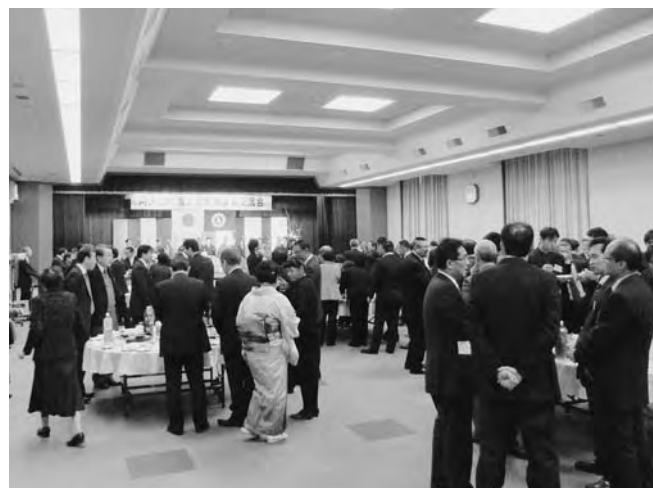
Q ミカン畑立木補償費については以前より、その樹齢に疑義があるとの意見申し立てを私の方からしていた訳であり、住民監査請求に基づき精査の結果約77万円を本町へ補償費の返還がなされた訳であるがその経緯について伺う。

A 物件移転補償に関する住民監査請求の提出を受け、監査委員による監査が行われた結果「補償費の算定を見直し、必要な措置を講じること」の勧告があった。

町は、再調査によりミカンの樹齢を33年から35年と判断し、補償費を再算定した。収益に対する補償費は0円、伐採費は樹齢相当とし、77万3,522円の減額が生じることを果樹園所有者に説明し、返還について合意した。

返還金は、平成23年2月24日に納入済みである。

商工会新春会員交流会欠席は 事前に連絡



商工会新春会員交流会

Q 1月8日の商工会新春会員交流会に町長他招待職員4名全員が欠席した。なぜ全員が欠席したのかその理由を伺う。

A 商工会主催の新春会員交流会は、会員相互の交流を図るよい機会であると認識している。

職員それぞれの都合により欠席させていただく旨、期限までに事務局に連絡させていただいた。その後、役員の方からこのことについてお話しいただいた。い。町としては行事への出席如何にかかわらず、商工会と連絡をとって商工業振興を図っている。



勝山 制 議員

都市計画道路矢高横川線の早期着工を 平成23年度内にすべて完了したい



着工が待たれる矢高横川線（宮津地内）

Q ①都市計画道路矢高横川線（オアシス大橋東交差点東）の進捗状況を伺う。
②道路工事が進まないため、町及び宮津特定区画整理組合の事業などへの影響を町はどのように考えているのか。
③平成23年度の予算とスケジュールを伺う。

A ①町道2141号線の用地買収が進んでいないため、他の土地と分けて買収できるよう努めている。
②少しでも早く用地買収して、区画整理事業の換地処分に支障がないように、進めていく。
③都市計画道路矢高・横川線の工事、これに隣接する町道2141号線の付替工事及び道路用地費を予算化しているので、早期に着手し、年度内にすべて完了したい。

土地改良事業と農業振興の進捗は

平成25年度から着手

Q ①阿久比・矢高地区、宮津地区の土地改良事業準備活動の進捗状況を伺う。
②準備中の土地改良事業の今後のスケジュールを伺う。
③土地改良事業の推進体制を伺う。
④土地改良事業区域の営農計画を伺う。



土地改良事業計画地（阿久比地内）

A ①阿久比・矢高地区では地主説明会及び意向調査結果を踏まえ、県営は場整備の実施に向けて平成23年度から調査を行う。

宮津地区は今後地主説明会を行い、意向調査を実施する。

②阿久比矢高地区は25年度工事着手を目指す。宮津地区は一年程度後追いとなる。

③事務量の増加に対応して体制充実が必要と考える。

④農家の高齢化、担い手不足への対応や、稲作農業から畑作への構造改革に対応するため、集落営農・農業法人化を推進する。

国民健康保険税の値上げは 特定健診の町単独部分を繰り入れ



杉野 明 議員

Q

国保運営協議会で、国保税が全体で17・5%の大幅な値上げとなる案が承認された。

①大幅引き上げの原因は、

②引き上げによる町の増収はいくらになるか。

③一人当たり及び一世帯当たりの平均引き上げ額はいくらになるか。

④これまで議会で提案した一般会計からの繰り入れの固辞から一転し、1億1,000万円の繰り入れという施策変更の理由は、

A

①低所得者の増加による課税所得の低下や医療費の増加が主な要因である。

②現年分課税額で9,308万6,000円増となる。

③一人当たりでは、1万3,689円、一世帯当たりでは2万6,075円増となる。

④法定外繰入は、既に福祉波及分及び特定健診の町単独分を繰り入れている。

生きがい活動支援通所事業廃止は 行政評価により廃止

Q

自立の高齢者への支援事業は、介護予防に大きな効果があり、費用対効果から廃止ではなく、より効果的な事業として充実発展させるべき。

①廃止はいつどのような行政評価で決められたか。

②利用者への説明はいつしたか。利用者の声は。

③住民への説明責任は。

④介護予防につながる自立高齢者への支援事業の必要性をどう考えるか。

A

①平成22年度の行政評価により廃止が決定された。

②平成23年1月21日から1月26日にかけて全員に説明した。

③平成22年12月15日の広報で周知した。今後も広報、ホームページにより周知する。

④宅老所、各種教室、介護予防講演会、小規模福祉活動事業等を積極的に進め、サポートする。

精神障害者の一般医療費無料化を 近隣市町の動向を見ていく

Q

精神障害者の一般医療費は健常者と同じ3割負担。障害と疾患を合わせ持つ精神障害者にとって、医療費の3割負担は過酷で重く、自立した暮らしに向けての大きな不安要因になっている。

①身体・知的障害者の医療費の補助の状況は。

②身体・知的障害者と同様に、一般医療費を無料化した場合の予算の見込みはいくらか。また無料化する考えはあるか。

A

①障害者医療費は、平成21年度決算で、受給者260人、助成額4,594万6,778円、一人当たりでは17万6,718円となる。

②無料化した場合、医療費は約3千万円必要となることから、今後の近隣市町の動向を見ていく。

その他の質問事項

●住宅リフォーム助成制度の検討はされたか



石川 英治 議員

商工会への対応は 連携を進めて行く



平成23年阿久比町商工会新春会員交流会

Q 1月8日に行われた商工会主催の新春会員交流会に町長始め町幹部を招待したが、全員欠席した。

聞けば、町長が町職員に出席するのと命令したとのこと、町の産業発展に努めるために活動している商工会に対して非礼極まりない。町長という公人として失格と皆が言っている。町長は商工会をどう思っているのか伺う。

A 毎年開催されている新春会員交流会は、会員相互の交流を図るもので、非常に意義と承知している。

商工会は町内商工業者を束ねる重要な組織で、特に小規模事業所の経営安定・経営改善の指導機関としての役割はたいへん重要と考えている。今後とも、商工業に関する施策の計画・実施にあたっては、商工会と連携して進めて行く。

介護保険料のミスは

チェック機能が十分でなかった

Q 1月4日、介護保険料負担者に、保険料額変更通知書が送られた。内容は、データの入力ミスで100円を追加するとのこと。以下伺う。

A ①介護保険料額変更通知書を送付した人数は、1,296人、合計金額は、12万9,570円となる。

②通知書作成費用は、内部で作成したため、郵送料のみで6万5,000円程となる。

③今回のミスは、チェック機能が十分稼働していないための単純なミスであり、民生部として責任を感じている。今後、細心の注意を払っていく。

③責任はだれにあり、どのように責任をとるのか。

都市計画道路環状線は

粘り強く要望

Q 町長は都市計画道路環状線は、野崎交差点を平面交差でないとだめと今でも思っているのか。

平面交差だと名鉄をアンダーパスで通らないといけない。とても県はやってくれない。

町長がアンダーパスと言っている間は進展が望めない。それでも町長はアンダーパスと言うのか伺う。

A 都市計画環状線の整備については、以前から早期事業化の要望をしている。

県からは、土地利用等総合的に町と相談しながら検討していくとの回答があった。

今後も粘り強く要望していきたい。

障がい児保育への取り組みを 平成24年度に母子通園教室開設



大村 文俊 議員



遊び方教室 ひよこ

Q

障がい児保育への取り組みは、待ったなしと考えるが、現状と今後の取り組みを伺う。

①現在の障がい児保育への取り組みと問題点は。
②武豊町で発生した母子死傷事件のような問題を抱えているのか。
③母子通園教室など、今後必要な対策は。

A

①障がい児保育は行っている。療育は行う施設がなく、近隣市町の療育施設に頼っていたが、定員等の都合で近年受け入れが困難な状況である。
②子育て支援センターと保健センター職員が連携して、妊娠から出産、その後の子育てまで母子を支援している。
③出生からライフステージを見据えて発達支援体制を整える。平成24年度に母子通園教室の開設を予定している。

3人乗り自転車の活用を 貸し出しは考えていない

Q

阿久比町では3人乗り自転車を購入したが、近隣市町では未購入や貸出を実施している。阿久比町での活用方法を伺う。

①購入の狙いと利用方法は。
②子育て支援センターでの活用はできないか。
③貸出の考えは。その活用方法は。

A

①3人乗り自転車の普及啓発を目的に3台購入して子育て支援センターと保健センターに配置し、普及啓発している。
②普及啓発を目的に購入しているため、貸し出しすることは考えていない。
③貸し出しすることは現在考えていない。今後も子育て支援センターと保健センターに配置し、希望者に試乗していただいたり、保育園等で開催する交通安全教室で普及啓発をする。

電動アシスト自転車購入補助制度導入を 導入する考えはない

Q

自転車の促進や環境保護・エコ対策、子育て支援・高齢者対策、高齢者の運転免許証返納制度など、多くの対策に利用できると考えるが、「電動アシスト自転車」購入補助制度導入の考えは。

A

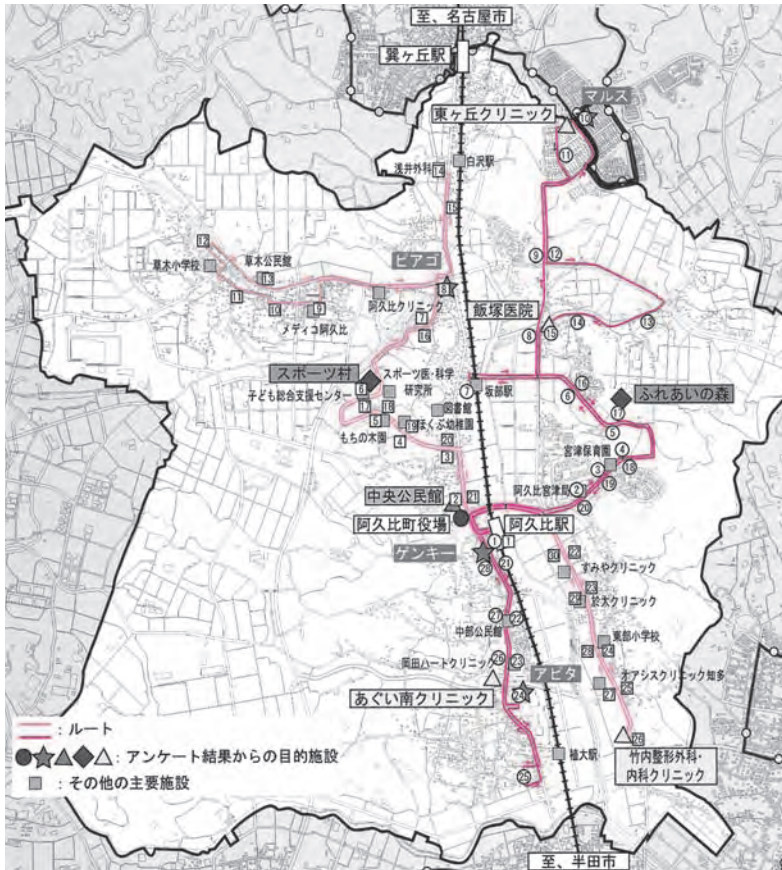
本町では、住宅用太陽光発電システム設置費補助・生ごみ堆肥化装置購入費補助やレジ袋削減に係る有料化の取り組みをしているが、電動アシスト自転車の利用は、温室効果ガス削減に大変有効なことを認識している。

現在のところ、購入補助制度を実施する考えはない。



竹内 松彦 議員

阿久比町循環バス運行計画は 3年間無料運行



循環バス運行予定路線

Q 町民の足、循環バスが23年度より町内を回る予定。順路もほぼ決定したが大通りのみで、中道へは入っていない予定とか。以下三点について伺う。

① 無料試行運転を三年としているようだがその根拠は。

② 三年間の無料試行運行は金のない町では長いと思うが。

③ もし三年無料運行したいならその先も無料で通することはできないものか。

A ① 試行運行期間は、検討委員会
で検討した結果、早急な判断を下
さず循環バスを町民の生活に浸透させ
るため、3年間の適当との報告を受け
て決定した。

② 知多地域では、最初から本運行と、
武豊町・南知多町などのように3年と
した所があり、本町は無料での3年間
が適当と判断した。

③ 試行運行期間中に見直しを図り、有
料か無料も含めて本格運行に移行す
るかを判断する。

農・商・工業の今後は 農協、商工会と連携

Q 消費拡大や工事の増加の望めない今日、当局は町の産業をこの先どのように考えているか伺う。

① 農・商・工業を町として、今後どのように支えていくのか。

② TPPの参加に伴いこれからの農業をどのように進めていくのか。

また、ブランド化をいかに進めていくのか。

③ 町の税収源でもある商店等、今後どのように手助けをしていくのか。

④ 町内には中小零細企業が多くあるが、そのような企業で町財政は成り立っている。

企業に対して当局はどのような手だてを考えているか。

A ① 農商工の施策は、第五次阿久比町総合計画を踏まえ、県の機関や農協、商工会などの団体と連携して推進する。

② 農家の高齢化、農業従事者の減少が進む中、基盤整備を推進して農業生産の効率化を図る。またブランド化は、生産の拡大を図り、阿久比町内いつでもどこでも供給できる体制作りが必要と考えている。

③ 商店の休廃業への対応は、商工会と連絡をとって施策を検討する必要がある。

④ 小規模・零細企業への支援は、商工業振興資金や信用保証料補助など従来の施策のほか、商工会経営指導員や県機関相談員の活用を推進する。

23年度予算の骨子は

保育所三園の統合



鈴木 一夫 議員

Q 厳しい財政状況が続いている今、新年度予算について伺う。

- ① 国県の支出金の状況は。
- ② 新年度予算の大きな目玉は。
- ③ 予算編成において一番苦労をしたことは。
- ④ 今後この状況は続くと思うが見通しは。
- ⑤ 拡大しきった予算の中で見直すすれば何か。
- ⑥ 今後歳入増として見込めるものがあるか。
- ⑦ 経費の削減できるものはあるか。

- A**
- ① 国庫支出金は、1億2,142万6千円の増。県支出金は、5,760万2千円増を計上。
 - ② 新保育所建設事業、循環バス対策事業、子宮頸がんワクチン助成など。
 - ③ 景気低迷の中、町民負担の軽減を図ること。
 - ④ 節減・合理化を図りながら、健全な財政運営に努めていく。
 - ⑤ 見直すところはない。
 - ⑥ 現時点で可能な限り見込んだ額を計上。
 - ⑦ 削減できるものはない。

Q

本町では、平成16年12月に半田市との合併協議会設置について住民投票が実施されたが結果はノー。その後情勢の変化もあり、このままでは陸の孤島になるのではと心配もある。

- ① 県下において不交付自治体と交付自治体の数は。
- ② 今年度より急速に交付自治体が増加した。その数と理由は。
- ③ 合併に関してのメリット、デメリットは。
- ④ 即実施はできないが今後の検討課題として考えられないか。

調査・研究を

市町合併・広域行政は

A

- ① 不交付団体16団体、交付団体41団体。
- ② 新たに県下で17団体が交付団体に陥る。企業収益の低迷とそれに伴う還付金の支出による減収が起因。
- ③ メリットは、人件費の節減、効率化、スケールメリットが大きいこと。デメリットは、中心部だけが良くなり周辺の地域が取り残されたり、地域の伝統や文化が失われてしまうこと。
- ④ 知多市町会で合併を含め、広域的連携を図りながら調査・研究する。



役場庁舎

追跡 レポート 2年前の あの答弁はどうなった!!

過去に質問した内容が現在
どうなっているか調査しました。

Q 運動場、園庭の芝生化を

近年、全国各地で保育園・小学校等の芝生化が進められ成果を上げている。

年々、屋外で遊ぶことの少なくなった子どもの健全育成と自然環境保護の見地から、本町も運動場、園庭の芝生化を。

A 調査、研究していく

園庭、運動場の芝生化の推進については、今までは多額の費用がかかるとされてきた。しかし、「鳥取方式」の採用により、芝生化する園、学校が増えてきたようである。

今後は、メリット、デメリットについての調査を行うとともに、保護者会等の意見を聞きながら、芝生化について検討していく。

現在は

引続き調査研究する。
他市町の状況を把握するとともに、維持管理等の諸問題について、引き続き調査研究する。



芝生化された園庭（東海市名和保育園）

Q 観光圏協議を

知多半島観光圏協議会が設立されるが、
○本町の観光整備事業の計画は。

○地域資源を観光資源として戦略的に推進すべきでは。

A 観光資源の整備等を検討

○町内の行事、活動等を観光の視点から見直して、観光資源の整備等を検討していきたい。

○他の市・町と連携して、本町の観光的な魅力の増進に努めていく。

現在は

町内の多様な組織に呼びかけて、平成23年6月を目標に、観光協会設立準備を進めている。

観光協会では、地域資源の活用促進を図るほか、知多半島観光圏協議会等の組織にも積極的に参画し、阿久比町の観光情報発信に努めていく。

☆設立時会員募集！
阿久比町観光協会に
ご参加ください。



阿久比町観光協会設立準備委員会

パンフレット

宮津山田達者会

(友愛活動)

必要とする人がいる限り続けたい



活動風景

独居高齢者の孤独死を含む老後への不安は常に付きまとい、やがて避けることのできない現実

に直面します。この現実を真剣に受け止め、配偶者の去り行く後の独居の不安を和らげ、「絶対に一人にさせない」との連帯意識が動機となり、困りごとの手助けや、訪問して相互扶助の精神で協力し合うことや、元気な人は、外に出て協力し活動する場を見つけるよう意識付けをし、地道に努力しながら活動を続けて5年余がたちました。

おもな活動では「友愛お話し会」簡単な手芸・料理等を行って、多少頭を使い、手足を動かしたりしながら会話を楽しんで、閉じこもり予防しています。「友

愛訪問活動」では、複数で訪問して安否の確認をしています。「友愛奉仕活動」では、元気な会員が（お助けマン活動）高齢者の日常生活支援を実施しています。包丁研ぎ、蛍光灯取替え・重い家具等の移動、不要品廃棄・簡単な大工仕事、水道水漏れ修理・日用品買い物代行等、「明日はわが身」そして「お互い様」の気持ちで、登録会員が協力し友愛活動を活発に行っています。活動はまだまだ試行錯誤しており、未熟な面もあります。しかし、友愛活動が必要としている仲間がいる限り、頑張っていることを誓っています。

(会代表 高橋孝)

次回定例会

6月2日(木) (開催予定)
午前10:00～

皆さんの傍聴を
お待ちしております

問い合わせ先

☎ 48-1111
FAX 48-1711

議会事務局へ

編集後記

表紙は、本会議場での写真です。4年間の任期、最後の3月議会が終わったところです。

この3月議会開催中の11日に東日本で巨大地震が発生しました。今まで、当たり前のように生活していた姿が、一瞬のうちになくなる怖さを目の当たりにして、余りにも甚大で未曾有の被害に声を失う状況でした。

義援金を募ったり、物資や人員を送ったりする等、国を始め、各自治体や団体などでは、被災地に向けた支援の輪が広がっています。復旧までかなり時間がかかることが想定されるだけに、社会全体でこの非常時を支えていくことが大切です。

国民全員の総力を結集していきましよう。

また、私たち「議会だより編集特別委員会」メンバーは、この「だより」発行を最後に交代します。これまで、大変お世話になり、ありがとうございました。

議会だより編集特別委員会

委員長 渡辺 功
副委員長 勝山 制
委員 竹内 松彦
委員 久保 秋男
委員 大村 文俊